

スカイマークの決算概観(収支)

5月9日に発表されたスカイマーク(SKY)の 2013年3月期決算における 収支を概観した。

1. 減益:営業利益は前期比3分の1の47億円

- ① 供給座席数を+20%増やしたが、営業収益は+7%の伸びに留まり、他方営業費用が+25%と大きく増えたため、営業利益は過去最高だった前期の153億円から、当期は47億円と大幅減益になった。 営業利益率は5%。
- ② 為替差益(30 億円)で経常利益の減益幅は緩和されたが、当期純利益は前期のほぼ半分(38 億円)となった。 今期は4円(/株)を配当する。 来期は、売上規模が約100億円増の951億円、営業利益は小幅ながら改善を、純利益は若干の減益を見込んでいる。

2. 搭乗率の低下に B/E の悪化が加わって収益性が低下

① 平均搭乗率が、(前期)76.2% →(当期)68.4%と大幅に低下したのが大きく影響。
採算ラインを示す B/E(プレーク・イープン利用率)が、(前期)61.4% →(当期)64.6%と上昇(悪化)したことも作用している。

搭乗率と B/E の差は、前期は約 15 ポイントあったが、今期は約 4 ポイントに縮まった。

- ② **搭乗率の低下**; 路線全体にわたって低下傾向がみられるが、搭乗率の低い路線割合 が高まったこと(路線構成の変化)も大きく影響している。
- ③ 収入単価は前期並み; 発着旅客当りの平均収入は前期なみの約 12,600 円。 LCC 等他社との競争で低価格が拡大していることを考慮すると、比較的高いレベルの運 賃旅客も多かったのであろう。

座席コストは上昇; 前期に8,000 円を切っていた座席コストが再び上昇して8,138 円となった。

収入単価横ばい+座席コスト上昇によって、B/E が+3.2 ポイント悪化した。



④ 1 便当りの収支; 収入は前期より約 18 万円減って 155 万円。 費用は約 6 万円増の 146 万円、その結果、便当り利益は 24 万円減の 8 万円。 一昨年の利益 35 万円と比べると収益性は大きく後退。

3. 高需要路線外への規模拡大(路線構成比の変化)が搭乗率低下に作用;

① 路線別搭乗率; 高需要で収益性の高い 4 大路線路線(羽田=札幌、神戸、福岡、沖縄)の搭乗率は(前期)89.8% →84.4%と5.4 ポイント低下。

LCC との競合が多い成田・関空路線の搭乗率は 57.7% →53.2%と 4.5 ポイント低下。 その他の路線は 66.5% →62.4%と 4.1 ポイント低下。

総平均では $76.2\% \rightarrow 68.4\%$ (\blacktriangle 7.8 * $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$)とどの路線よりも大幅に低下したが、路線構成の変化が大きく関係している。

② 4大路線の座席シェア(構成割合)は全体の36%に低下。

成田・関空路線は 21%を占め、その他の路線も 43%を占めるようになった。 4 大路線の座席が 85%を占めていた 2009 年度とは、路線構造が大幅に変化。

しかし広範に拡大した事業構造下で、5%の営業利益率は決して低いものではない。



《表1》 収支実績					前年上	100	2013
"FO" DOCUM	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3	差	率	予想
	百万円	百万円	百万円	百万円	一音冊	96	百万円
旅客収入	41 ,134	57,207	78,913	84,723	5,810	107	
貨物 附帯	324	² 817	1,342	1,220	-122		
営業収益	41,458	58,024	80 <i>2</i> 55	85,943	5,688	107	95,100
営業費用	38,315	46,828	64,972	81,269	16,297	125	
営業利益	3,1 43	11,196	15 <i>,2</i> 83	4,674	-10,609		5,800
(利益率) (%)	8	19	19	5			
営業外収支(為替損等)	-186	-227	464	3,417	2,953		
経常利益	2,957	10,969	15,747	8,091	-7,656		6,000
当期种益	2,751	2,751	7,705	3,778	-3,927		3,300
·							

《表2》 収益性指標	=					前年	THO .
W1421/ 4XIII 11111	ਗ਼ਨ [LDEG		
	Į	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3	差	率
座席数	千席	4,109	5,682	8 <i>2</i> 13	9,837	1,624	120
旅客数	千人	3,205	4,456	6,259	6,729	470	108
搭乗率	% [78.0	78.4	76.2	68.4	-7.8	
旅客当り収入	円	12,832	12,840	12,608	12,591	-17	100
をはいる	円	9,245	8,098	7,748	8,138	390	105
B/E	% [72.0	63.1	61.4	64.6	32	
運航便数	便	22,654	32,107	46,400	55,574	9,174	120
1日の便数(片道)	便	62	88	127	152		
1便当5収入	千円	1,830	1,807	1,730	1,546	-183	89
1便当り費用	千円	1,691	1,458	1,400	1,462	62	104
1便当り営業利益	千円	139	349	329	84	-245	
平均空席数	席	181	177	177	177		
平均旅客数	ㅅ[141	139	135	121	-14	
B/t旅客数	ᄉ	131	112	109	114	6	
利益旅客数	٨.	11	27	26	7	-19	

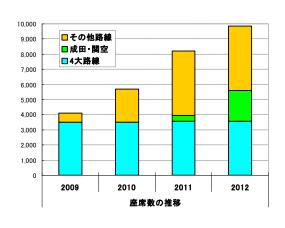


《グラフ3》 搭乗率(%)の推移

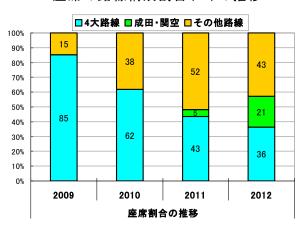


《グラフ 4.5》 路線別座席数(千席)と構成割合(%)の推移





座席の路線構成割合(%)の推移



(注)図表は、SKY の公表資料をもとに航空経営研究所で加工したもの。

以上(Y.A)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘する ものではありません。ご利用に関しては、すべてを閲覧者ご自身でご判断くださいます よう、よろしくお願い申し上げます。

当資料は、この資料の作者が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、当研究所としての見解ではなく、また当研究所はその正当性を保証するものではありません。 内容は予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。また、当資料は著作物であり、著作権が保護されます。 全文もしくは一部を転載される場合には出所を明記されるようお願いいたします。